



栄光の未来

R6.9.4 発行
第14号

主体性を最大限に発揮する時が来た！

前期期末テストが終わり、今日から授業や部活動、生徒会活動など普段の生活が再開しました。それとともに、来週末に迫った東翔祭に向けて全校で意識を高めていく時期にもなりました。

東翔祭は多くの生徒が楽しみにしている学校行事です。そのため、行事そのものが皆さんの主体的な参加・参画を促すものとなっています。ただ、これが行事のみの姿で終わってしまうのではなく、日常の姿と連動することで、本当の意味で皆さんの主体性が高まることにつながるのではないかと思います。

授業で、課題や発言・発表、仲間との話し合いに進んで取り組んだりすることや、委員会活動に全力で取り組んだりする姿は、まさに自主性・主体性を発揮している姿です。このとき、自分なりに工夫したり妥協せずにとことん頑張ったりすることで、主体性が磨かれ、高まります。日常での主体性の発揮を意識して取り組み、その姿を今週末から始まる東翔祭の全校練習につなげていきましょう。



元気なあいさつで一日をスタート！



集中して課題に取り組む！

「心得」の見直しが、学校づくりの出発点

今年度の学校教育ビジョンの柱として掲げた「生徒の主体性の育成」は、自分が校長として一番力を入れて取り組みたいことであり、これから先の社会をたくましく生き抜く生徒に必要な資質・能力として最も必要なものであると考えています。そのため、機会をとらえて「生徒主体、生徒の手による学校づくり」の推進を生徒の皆さんに求めてきましたが、生徒会や行事の取組において、それが少しずつ進んできていると感じています。



真剣に話し合い、堂々と発表。リーダーとしての頼もしさを感じます！

夏休み前に、生徒会が「心得」についてのアンケートを実施しました。その結果を踏まえて、8月に行われた第2回学校運営協議会で、生徒会の生徒とCS委員が「心得」について話し合う機会をもちました。参加した生徒が、大人を相手にしながら一生懸命に自分の考えを述べている姿が印象に残っています。さすがは全校のリーダーだと感心しました。

自分たちが学校生活をよりよく過ごすために「心得」が決められています。しかし、それに対する生徒の意識は決して高くないというのが、自分の受け止めです。「心得」にこだわる高い意識を持つことで、学校づくりの主導権をしっかりと握り続ける皆さんであってほしいと思っています。

「心得」は必要なのか。必要だとすれば、なぜ必要なのか。現在の「心得」は、自分たちにとって本当に望ましいものになっているのか。また、時代や社会に合ったものになっているのか。こういったことについて改めてじっくりと考えることを、全校の皆さんに強く求めたいと思います。

「心得」の本質を問い、学校生活において自分たち全員が快適に過ごすことができ、高まり合えるために必要な「心得」を求め続ける取組が、これからの生徒会で推進されることを期待しています。